

総務企画防災常任委員会行政視察報告書

鳥井 康子

○愛知県半田市

「マイレポはんだの概要と災害時における活用について」

〔所 見〕

「マイレポはんだ」の優れた点は、日常的には道路や公共施設の破損などの情報をスマートフォンのアプリ経由で市民から行政に直接連絡できる気軽さ。そして発災時には各地に起きている災害の状況を共有するシステムとしても使用できる点である。視察 10 日後に発生した台風 19 号での当市での被災時に、このようなシステムがあれば被災状況の全容把握にかかる時間は大幅に短縮することができたであろうし、何より情報の精度が高くなることに大きく貢献できたと予測できる。災害が発生した際に、状況を正確にスピーディに把握することは、有効な救援策を早急に手配できるという観点からも非常に重要であろう。足利市では大きな災害に見舞われることが今まで多くなかったこともあり、行政にも市民にも根拠のない安心感があったことは否定できない。日本各地で豪雨災害が毎年のように起きている状況を鑑みると、足利市でも早急に災害時に被災状況を正確に速く把握するためのシステムを導入する必要性を強く感じた。また、半田市役所の市庁舎免震構造についても見学させていただき、南海トラフに近い地域での大地震の発生を考慮された備えを目の当たりにする機会を得たことは、これから当市の庁舎の建て替えを考える際の参考にしたいものであった。



○愛知県高浜市

「市役所本庁舎整備事業について」

[所 見]

高浜市の市庁舎は、私のイメージできる範囲から大きくはずれるものであった。同時に「足利市で同様の市庁舎を持つことは、非常に困難であろう」とも感じた。行政だけでなく、市民の賛同を受けた状況でなくては、あそこまで思い切った庁舎のスリム化は実現できない。市民と行政の間でどのような合意形成があったのか、大変興味深い。足利市での庁舎建て替えに於いても、市民の多様な要望をどのように引き出し、集約していくかがとても重要であると感じた。巨大地震による大きな津波が予測される地域にある市庁舎は、入り口に標高が表示されていて、このような防災意識は大いに参考にしたいと思った。

